

「交流サロン」だより

in 大仙 2月号

2025

マイフォクトー言

今は、秋田新幹線「こまち」が校舎の横を通る時代、半世紀以上前、私が中学生の頃は線路を挟んで対面に木造の校舎がありました。

立春を過ぎてから低温と大雪をもたらした暴れした冬将軍もようやく峠を超えうそのような温かさが到来!!「ほっと」胸をなでおろしているところです。毎日毎日、今日は、屋根の雪下ろしをしなればと言うストレスでいっぱい、いっぱいになっていました!!さて、23日に開催しました「笑顔と元気でつながる輪」は、お陰様でたくさんの皆様のご協力やご理解を賜り、大盛況の内に幕を閉じることが出来ました。「グループかぜ」の皆さんをはじめ参加者の皆さんに心から感謝申し上げます。毎年の事ですがこれが終わると今年度の「交流サロン」も先が見えきたと同時にこの一年を振り返っているところです。また、会員一同の意向で来年度も「交流サロン」は継続することに決めておりますが、先細りとなりつつある現実を何とか打開したいともがいているところでもあります。皆様の良いアイデアやヒントなどございましたらお寄せ下さい、幅広いご意見をお待ちしています。東日本大震災から間もなく十四年になろうとしています!!次から次へとおこる大きな自然災害に皆さんの心からだんだんと影が薄れて行っているのでは、そんな想いがあります・・・

マイフォクトー言 『我!母校!』 令和7年2月25日 11:56頃



今、秋田新幹線「こまち」が校舎の横を通る時代、半世紀以上前、私が中学生の頃は線路を挟んで対面に木造の校舎がありました。今よりも線路までの距離が近く、内川の堤防に向かい上りこう配で蒸気機関車が息を切らしながら通過して行くのを眺めていました。奥羽の山並みは今も昔と同じですが、文明は激しい変化を見せて当時を思い出すのも難しくなっています。それは、ただの老化現象でしょうか!!最近特に風景を見て昔と比べる傾向が、本物の老化現象かな!!

3月の交流サロン
3月30日(日)
「茶話会」
今年度の反省を踏まえて
来年度の計画について検
討会を開催します。



とくろ...はびねす大仙
参加費二百円
小学生以下無料

今日の「交流サロン」から

今回は、昼食の準備をしている裏方にスポットを当ててみました!!前日の午後から、煮物・豚汁・切干大根などの切り込みや下茹での作業に追われ、何と



うまみたっぷりの豚汁!!

か午後四時頃に目途がたったので、当日の炊き込みご飯や漬物などの段取りを行いこの日は終了、本番当日は、朝の八時半から小松菜と油揚げの煮びたし、キノコご飯の米研ぎと炊飯そしてそれぞれ副菜の盛り付けでてんてこ舞い状態そんなこんなで、開催の挨拶もそこそこに、申し訳ないと思いつながら調理場に立つ、いつもの事ですが気持ちだけが焦る、ご飯、豚汁は熱い物をとの思いでスタッフ一頑張ってくれましたので、少し遅れたが何とか提供することが出来ました。隣の会場の盛り上がりを目目に少し残念な思いもありながら、盛況の状況を心地よく聴き内心にやけていた自分がありました。また味はどうあれ、三十五名の大人数で食べるお昼ご飯は格別でした。



35名の大昼食会!!抽選会など

その後、僅かですが景品を準備しての抽選会を行うなど楽しんでいただけたのではと思います。さらに朝早く秋田を出発して準備をして下さった「グループかぜ」の皆さんには会員一同、心から御礼を申し上げます。

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇二二八五二